

高知工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	生化学演習
科目基礎情報					
科目番号	4491E		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	教科書: 鈴木紘一 他「生化学」(東京化学同人) 参考書: D.Voet 他「ヴォート 基礎生化学」(東京化学同人)				
担当教員	秦 隆志				
到達目標					
【到達目標】 1. セントラルドグマについて説明できる。 2. 酵素について説明できる。 3. 生体における代謝反応について説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	セントラルドグマについて詳細に説明できる。		セントラルドグマについて説明できる。		セントラルドグマについて説明できない。
評価項目2	酵素について詳細に説明できる。		酵素について説明できる。		酵素について説明できない。
評価項目3	生体における代謝反応について詳細に説明できる。		生体における代謝反応について説明できる。		生体における代謝反応について説明できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	セントラルドグマや、それから発現される酵素の働き、またそれによる代謝(糖代謝・脂質代謝・窒素代謝・拡散代謝)について学び、説明できることを目標とする。				
授業の進め方・方法	教科書や配布資料を用い、授業計画に従って進める。				
注意点	試験の成績70%, 課題15%, 質疑応答15%の割合で総合的に評価する。学期毎の評価は中間と期末の各期間の評価の平均、学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。なお、後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中間の各期間の評価の平均とする。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	概要説明[1]: 生化学の概要について説明する。	生化学の概要について説明できる。	
		2週	セントラルドグマ[2-3]: セントラルドグマについて学ぶ。	セントラルドグマについて説明できる。	
		3週	セントラルドグマ[2-3]: セントラルドグマについて学ぶ。	セントラルドグマについて説明できる。	
		4週	遺伝子の転写調整[4-6]: 遺伝子の転写調整について学ぶ。	遺伝子の転写調整について説明できる。	
		5週	遺伝子の転写調整[4-6]: 遺伝子の転写調整について学ぶ。	遺伝子の転写調整について説明できる。	
		6週	遺伝子の転写調整[4-6]: 遺伝子の転写調整について学ぶ。	遺伝子の転写調整について説明できる。	
		7週	酵素[7-10]: 酵素の性質と働きについて学ぶ。	酵素の性質と働きについて説明できる。	
		8週	酵素[7-10]: 酵素の性質と働きについて学ぶ。	酵素の性質と働きについて説明できる。	
	2ndQ	9週	酵素[7-10]: 酵素の性質と働きについて学ぶ。	酵素の性質と働きについて説明できる。	
		10週	酵素[7-10]: 酵素の性質と働きについて学ぶ。	酵素の性質と働きについて説明できる。	
		11週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		12週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		13週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		14週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		15週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		2週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		3週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		4週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		5週	代謝[11-30]: 代謝(糖代謝)について学ぶ。	代謝(糖代謝)について説明できる。	
		6週	代謝[11-30]: 代謝(脂質代謝)について学ぶ。	代謝(脂質代謝)について説明できる。	
		7週	代謝[11-30]: 代謝(脂質代謝)について学ぶ。	代謝(脂質代謝)について説明できる。	
		8週	代謝[11-30]: 代謝(脂質代謝)について学ぶ。	代謝(脂質代謝)について説明できる。	
	4thQ	9週	代謝[11-30]: 代謝(脂質代謝)について学ぶ。	代謝(脂質代謝)について説明できる。	
		10週	代謝[11-30]: 代謝(窒素代謝)について学ぶ。	代謝(窒素代謝)について説明できる。	
		11週	代謝[11-30]: 代謝(窒素代謝)について学ぶ。	代謝(窒素代謝)について説明できる。	
		12週	代謝[11-30]: 代謝(窒素代謝)について学ぶ。	代謝(窒素代謝)について説明できる。	

	13週	代謝[11-30]:代謝(核酸代謝)について学ぶ。	代謝(核酸代謝)について説明できる。
	14週	代謝[11-30]:代謝(核酸代謝)について学ぶ。	代謝(核酸代謝)について説明できる。
	15週	代謝[11-30]:代謝(核酸代謝)について学ぶ。	代謝(核酸代謝)について説明できる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	基礎生物	原核生物と真核生物の違いについて説明できる。	3	
			核、ミトコンドリア、葉緑体、細胞膜、細胞壁、液胞の構造と働きについて説明できる。	3	
			葉緑体とミトコンドリアの進化の説について説明できる。	3	
			代謝、異化、同化という語を理解しており、生命活動のエネルギーの通貨としてのATPの役割について説明できる。	3	
			酵素とは何か説明でき、代謝における酵素の役割を説明できる。	3	
			光合成及び呼吸の大まかな過程を説明でき、2つの過程の関係を説明できる。	3	
			DNAの構造について遺伝情報と結びつけて説明できる。	3	
			遺伝情報とタンパク質の関係について説明できる。	3	
			ゲノムと遺伝子の関係について説明できる。	3	
			細胞膜を通しての物質輸送による細胞の恒常性について説明できる。	3	
			フィードバック制御による体内の恒常性の仕組みを説明できる。	3	
			情報伝達物質とその受容体の働きを説明できる。	3	
		生物化学	タンパク質、核酸、多糖がそれぞれモノマーによって構成されていることを説明できる。	3	
			生体物質にとって重要な弱い化学結合(水素結合、イオン結合、疎水性相互作用など)を説明できる。	3	
			単糖と多糖の生物機能を説明できる。	3	
			単糖の化学構造を説明でき、各種の異性体について説明できる。	3	
			グリコシド結合を説明できる。	3	
			多糖の例を説明できる。	3	
			脂質の機能を複数あげることができる。	3	
			トリアシルグリセロールの構造を説明できる。脂肪酸の構造を説明できる。	3	
			リン脂質が作るミセル、脂質二重層について説明でき、生体膜の化学的性質を説明できる。	3	
			タンパク質の機能をあげることができ、タンパク質が生命活動の中心であることを説明できる。	3	
			タンパク質を構成するアミノ酸をあげ、それらの側鎖の特徴を説明できる。	3	
			アミノ酸の構造とペプチド結合の形成について構造式を用いて説明できる。	3	
			タンパク質の高次構造について説明できる。	3	
			ヌクレオチドの構造を説明できる。	3	
			DNAの二重らせん構造、塩基の相補的結合を説明できる。	3	
			DNAの半保存的複製を説明できる。	3	
			RNAの種類と働きを列記できる。	3	
			コドンについて説明でき、転写と翻訳の概要を説明できる。	3	
			酵素の構造と酵素-基質複合体について説明できる。	2	
			酵素の性質(基質特異性、最適温度、最適pH、基質濃度)について説明できる。	2	
			補酵素や補欠因子の働きを例示できる。水溶性ビタミンとの関係を説明できる。	2	
			解糖系の概要を説明できる。	3	
			クエン酸回路の概要を説明できる。	3	
			酸化的リン酸化過程におけるATPの合成を説明できる。	3	
嫌気呼吸(アルコール発酵・乳酸発酵)の過程を説明できる。	3				
各種の光合成色素の働きを説明できる。	3				
光化学反応の仕組みを理解し、その概要を説明できる。	3				
炭酸固定の過程を説明できる。	3				

評価割合

	試験	課題	質疑応答	合計
総合評価割合	70	15	15	100
基礎的能力	70	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0